

本書の効果的な活用法

step1 イラストやカタカナ語を足がかりに word parts の意味を学習する

語源学習をするためには、まずは基本的な word parts の意味を学習する必要があります。word parts の意味を学習する上では、カタカナ英語や既知の単語をきっかけに覚える方法が有効です。たとえば、以下の表をご覧ください。

word parts	覚え方	関連語	本書関連ページ
cap = 頭	キャップ(cap)は 頭 にかぶるもの	captain, capital, escape, capable	p. 18-19
fer = 運ぶ	フェリー(ferryboat)は 荷物を 運ぶ 船	offer, prefer, transfer, suffer	p. 50-51 p. 54-55
fin = 終わる	finishは 終わり にすること	final, finale, finalist, infinite	p. 58-59
flo / flu = 流れる	フローチャート (flow chart)は 流れ 図	influence, flood, fluent, affluent	p. 60-61

上のように、cap (帽子) や finish (終える) といったおなじみの単語を足がかりとして、word parts の意味を効率的に覚えることができます。

本書のイラストおよび **Back to Roots** 欄では、word parts の意味を覚えるきっかけとなるカタカナ語や基本的な英単語をご紹介します。まずはイラストと **Back to Roots** を活用して、語源学習の基礎となる100のword parts の意味を覚えてみましょう。

step2 word parts を元に見出し語の意味を理解する

ステップ1で word parts の意味を覚えた後は、語源の知識を元に未知語の意味を習得していきましょう。本書では収録している100の word parts について、それぞれ9つ程度の見出し語をご紹介します。ステップ1で学習した word parts の知識を元に、単語の成り立ちを1つ1つ丁寧に確認しながら意味を覚えていきましょう。

見出し語を学習する際には、まず例文や word parts を元に単語の意味を推測し、その後初めて和訳を確認するようにしましょう。具体的には、以下のような手順に従うと良いでしょう (P. 37の見出し語 predict を例にとります)。

① 例文から英単語の意味を推測する

まずは紙や赤シートなどで和訳を隠しておき、例文をヒントに predict の意味を推測してみましょう。

② 「語根 de 連想」欄で word parts の意味を確認する

次に、「語根 de 連想」欄で word parts の意味を確認してみましょう。「語根 de 連想」欄には、[pre (前もって) + dict (言う)] と書かれています。predict は「前もって言う」ことなので、「予測する」、「予言する」といった意味ではないかと想像できます。

③ 和訳と例文訳で、単語の意味を確認する

最後に、日本語訳を確認しましょう。すると、「predict **動** 予言する, 予測する」とあり、先ほどの予測が正しいことが確認できました。

上のように、「① 例文から predict の意味を推測する」→「② 『語根 de 連想』から predict の意味を推測する」→「③ 和訳を見て predict の意味を確認する」という手順を経ることで、predict の意味に関する記憶がさらに強固なものになります。推測のプロセスを経ずに和訳をすぐに確認してしまうと、その時は覚えたつもりになっても、長期的な記憶にはつながらないので注意が必要です。

「英単語学習」というと、「無味乾燥でつまらない」、「退屈だ」というイメージを持たれている方も多いかもしれません。単語の学習は “at best boring, and at worst painful (良くて退屈, 最悪の場合は苦痛)” という指摘さえあります。英単語とその和訳を表面的に結びつけるだけの機械的な暗記学習は、確かに退屈で苦痛なものかもしれません。

しかし、語源を意識して理屈をつけて意味を覚えていくことで、英単語学習は合理的で興味深い、知的な活動になります。「無味乾燥になりがちな単語学習を、興味深い発見の連続に変えてくれる」という点は、語源学習法の隠れたメリットと言えるかもしれません。本書を使って語源学習法を実践することで、「退屈で苦痛」という従来の英単語学習のイメージがきっと一変することでしょう。

監修者 中田達也

単語レベルに関する解説

本書では、見出し語の中で特に重要な単語には *印をつけています。*印をつけるにあたって、コーパス (現代英語の大規模なデータベース) における単語の頻度 (登場回数) や、日本人英語学習者への有用度などの指標を参考にしました。単語レベルの目安は以下の通りです。

- *** 基本単語。中学～高校初級レベル。
- ** 重要単語。高校中級レベル。
- * センター試験・大学入試レベル。

(参考文献) Nation, I.S.P. (1990). Teaching and Learning Vocabulary. Newbury House, Mass.